



HOKKAIDO[®]

ベスト シーニックバイウエイズ プロジェクト2024 応募プロジェクト一覧

🌸 ベスプロ2023 最優秀賞 🌸

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ ～サステナブルな景観づくりマスタープランの再構築と実施～



◆景観診断をもとにマスタープランを作成



年度	景観再診断	景観改善の実施				フォローアップ調査
		弟子屈	阿寒湖	中標津	釧路湿原	
H30	弟子屈エリア	2箇所	診断前	診断前	診断前	全箇所実施
R01	阿寒湖エリア	9箇所		診断前	診断前	全箇所実施
R02	※COVID-19で延期			診断前	診断前	全箇所実施
R03			2箇所	診断前	診断前	全箇所実施
R04	中標津エリア	1箇所		2箇所	診断前	全箇所実施
R05	釧路湿原エリア			2箇所		全箇所実施

新しい「ルート景観づくりマスタープラン」が完成

◆マスタープランによる計画的な景観改善



シーニックバイウエイ北海道推進協議会

活動名称

～地域のシンボル(羊蹄山)の眺望を守る・整える・育む～
学官地域連携によるビューポイント魅力アッププロジェクト

エントリー部門

美しい景観づくり

ルート名称

支笏洞爺二セコルート

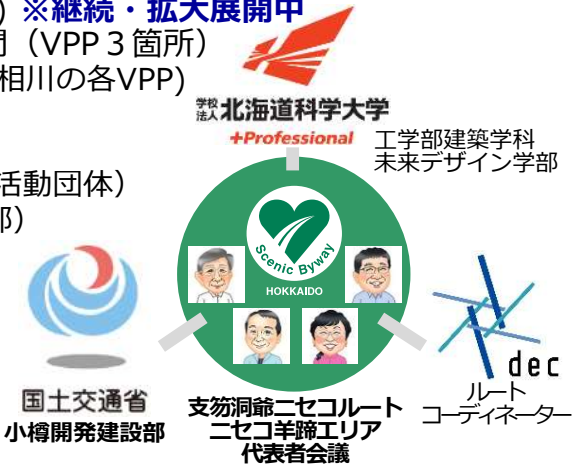
①活動概要(目的・目標、具体的な取り組み等)

- 活動の目的・目標：
 - ・地域団体と道路管理者が協働で魅力ある道路景観の保持・改善を推進する「秀逸な道」区間に設置されているビューポイントパーキングにおいて、優れた「眺望」を楽しんでもらうための「視点場」の魅力向上に向けた検討や試行を実施し、ビューポイントパーキングでの滞在時間の増加や快適性の向上、利用シーンの多様化を目指す。
 - ・北海道科学大学と地域の団体・道路管理者等が連携し、ベンチや花壇、案内看板等のビューポイントパーキング付属施設について、デザイン検討・製作等を行う。
- 活動内容：
 - ①ビューポイントパーキングの維持管理活動(草刈・清掃等)：毎年6～8月
 - ②現地看板の設置による地域情報の提供と効果検証：毎年6～10月
 - ③道路空間を利用したオープンカフェ ※道路協力団体制度の活用：毎年5～10月
 - ④「秀逸な道」カードによる現地来訪&周遊促進に向けた試行：R5年度～
 - ⑤「秀逸な道」を対象とした現地ヒアリング・景観診断調査：毎年6月,9月
 - ⑥北海道科学大学との連携によるビューポイントの魅力アップ検討と試行：R6年度～
- 活動期間：令和2年度(2020)～令和6年度(2024) ※継続・拡大展開中
- 実施場所：二セコ羊蹄エリア：「秀逸な道」区間 (VPP 3箇所)
(倶知安町八幡、京極町更進、喜茂別町相川の各VPP)

②活動の体制

学官地域連携スキーム

- ・シーニックバイウェイ北海道 支笏洞爺二セコルート(地域活動団体)
- ・北海道科学大学 (工学部建築学科/未来デザイン学部)
- ・国土交通省 北海道開発局 小樽開発建設部
- ・(一社)北海道開発技術センター
- ※プロジェクトの推進にあたり、ルート(地域活動団体)・北海道科学大学・小樽開建・decの四者間において随時、情報共有を図ることとする。



③PRポイント

- 【総意工夫した点や苦労した点】
 - ・2017年(H29)の〈電線見えない化〉の継続・発展系として、PDCAサイクルによるビジョンの明確化、プロセスの共有を徹底し、継続的な魅力アップに寄与している。
- 【活動による効果】
 - ・SNS利用者に「秀逸な道」カードが投稿され、現地来訪・周遊促進に寄与している。
 - ・このプロジェクトを担う地域活動団体(喜茂別・京極・倶知安)が3年連続で「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を受賞し、活動継続のモチベーション向上に繋がった。
 - ・学生には、ビューポイントでアイデアを形にできる貴重な機会となり、地域活動団体や行政には、若い世代にシーニック活動を知ってもらう機会の創出に繋がる。

ビューポイント魅力アップに向けた具体例
美しい景観づくりの継続的・拡大展開に向けたPDCAサイクル



活動名称 ひがし北海道「より道」トクするQR

エントリー部門 魅力ある観光空間づくり

ルート名称 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

①活動概要

- 背景：道の駅利用者が弟子屈町内の施設を利用せず通過してしまうてしかが情報掲示板（アナログ）では情報量に限りがある多くの地域施設（特に個人店）が外国語に対応できていない
- 活動目的：デジタルによる地域施設の利用促進
- 活動内容：地域施設への参画の打診
情報収集と情報の掲載、英語翻訳、チラシの配布
- 活動期間：令和4年度～継続中
- 活動場所：釧路市、弟子屈町、中標津町、白糠町、鶴居村の各施設
- 施設数：53施設（配布のみの施設を含む）

最大27施設まで



図 てしかが情報掲示板

②活動の体制



③PRポイント

- エリア拡大：道の駅しらぬか恋問館のリニューアルに併せて白糠町を追加
- 利便性の向上：情報提供のスペースに限りがなく、Webページにて無限に増加可能
外国語への対応が困難な地域施設の情報を英語で提供
スマホの機能により各国の母国語へ自動翻訳でき英語以外も提供可能
- 情報の鮮度：情報を即時に修正可能
- アナログとデジタルの共存：既存のてしかが情報掲示板も残す
- 道の駅第3ステージ：道の駅×日本風景街道の連携強化を促進

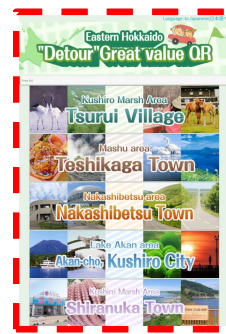
即時に修正可能

無限に増加可能

白糠町内6施設を追加



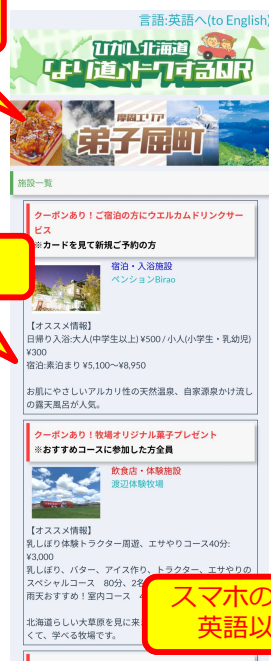
図 しらぬか恋問館リニューアルオープン



英語版



図 より道トクするQR Web画面



スマホの翻訳機能により英語以外も提供可能



英語版



図 英語版チラシ

①活動概要 (目的・目標、具体的な取り組み等)

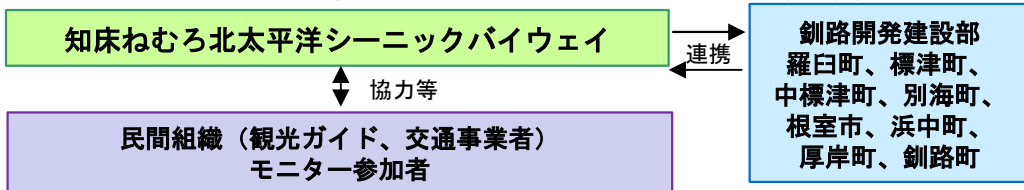
- 活動の目的・目標：
 - ・通年でのサイクリングやフットパス等の観光コンテンツの創出・検討
 - ・花咲線や路線バス等の地域公共交通の活用
 これらを通じて地域の観光資源を掘り起こし、広域連携による「新しい旅のカタチ」創出を図り、地域活性化を目的とする。
- 活動内容：
 - ・観光コンテンツの創出および試行、関係者との意見交換会等の実施
- 活動期間：
 - 令和元年度～ フットパスの維持管理、新規フットパスの試行、フットパスを活用したサイクリングの試行 など
 - 令和6年 6月30日 ねむろエコモビたび
 - 令和6年12月 1日 レンタサイクル・日本本土最東端サイクリング認定証発行事業
 - 令和7年 2月18日 冬季観光コンテンツ造成事業

②活動の体制

- 活動団体、人数、体制図等

企画や実施結果とりまとめ等

関係機関との調整等



③PRポイント

- 【創意工夫した点や苦労した点】
- ・鉄道や路線バスとの「輪行」がしやすい折りたたみ自転車を活用し、地域の観光資源と連携することで気軽にサイクリングが楽しめる仕組みを検討・試行。
 - ・「本土最東端」というこの地域ならではの特性を活かしたコンテンツを構築。
- 【活動による効果】
- ・試行や意見交換会を通して、新たなコンテンツ造成案など、当該エリアの可能性を再認識でき、今後の継続した活動が見込まれる。

【令和6年度の活動概要】

- 6月30日 ～折りたたみ自転車×根室交通×JR花咲線×手ぶらでキャンプ＝ねむろエコモビたび～



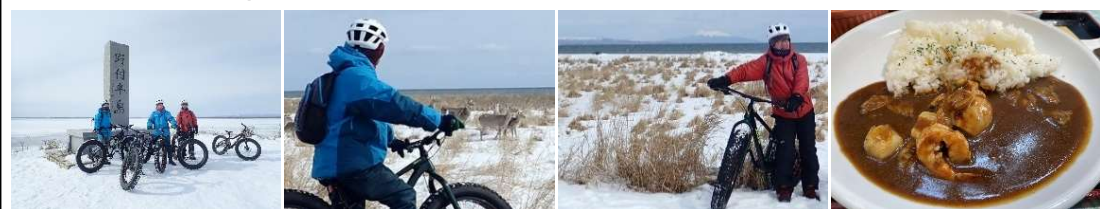
路線バス (根室駅～別海町奥行臼) →サイクリング→手ぶらでキャンプ【昼食：BBQ】→サイクリング→JR花咲線 (厚床駅～根室駅)

- 12月1日 レンタサイクル・日本本土最東端サイクリング認定証発行事業



サイクリング (根室駅～納沙布岬) →ノツカマップ灯台・ランネモトチャシなどに立ち寄り本土最東端納沙布岬へ→路線バス (納沙布岬～根室駅)

- 2月18日 冬季観光コンテンツ造成事業



別海町 野付半島サイクリング (根室海峡、野付湾、氷平線、シカなどの野生動物、国後島を眺めながらライド、野付半島ネイチャーセンターで昼食)



標津町 ポー川史跡自然公園スノーシュートレッキング (ポー川、標津湿原、復元された竪穴式住居等の史跡を巡るトレッキング)